
空の探険隊で気ままな冒険を試みることにした

ウルティ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空の探険隊で気ままな冒険を試みることにした

【Nコード】

N5394Z

【作者名】

ウルティ

【あらすじ】

何か物凄くアホな理由で殺されちゃった俺。だけど、おかげで憧れだった『空の探険隊』の世界で気ままに冒険だ〜！！！！！！

第1章 転生（前書き）

ネタが思いついたら書くことと思っています。駄文ですがよろしくお願ひします。

第1章 転生

「……………ここは何処だ…?」

目を開けると、何も無い白い空間 + 知らない天井。

そんな所で俺は寝ていた。

「目は覚めたか。」

「っ！誰だ！」

突然、背後から声を掛けられた俺は慌てて振り向いた。

そこには、パルキアが……………「って、パルキアアアアアッ!?!」

「やれやれ、騒がしい奴だな」

「そついう問題じゃねえよ!!何でパルキアがここにいるんだよ!」

「ん?まだ気づいてなかったのか?お前は死んだんだぞ。」

「はあっ!?!マジでっ!?!」

「本気と書いて、マジと呼ぶぐらいマジだ。お前は死んだ。」

「……………因みに、死因はどのようなもので?」

「すまん、わたしのミスだ。」

……………おい、今この伝説ポケモン(笑)何てほざきやがった?

「お前がちょうど、本屋から包みを抱えて至福の笑みで出てきた時
にな、練習していた亜空切断で中身の本ごと切ってしまった。」

……………チーン

「何でだよ、何でそんなところでそんな大技の練習してんのっ！？馬
鹿なのっ！？死ぬのっ！？」

「それについては、心から謝りたい。まさか5メートルも狙いを外
すとは思わなかった。このパルキア一生の不覚。」

「しかも、結局テメエの亜空切断の命中率の悪さが俺の本当の死因
じゃねえかよ！責任取れよ、このノーコン野郎！！」

「くっ…」

あれ？あれあれ、もしかしてこいつは怒らしちまったってパターン
かい。ヤベエな、いくらノーコンな伝説ポケモン（笑）でもこんだ
け暴言を吐かれたらそりゃマジギレしてもおかしくないか…。こり
やさっさと謝った方が良さそうだ。

「あの〜パルキア…さん？ごめん、俺ついつい言い過ぎちゃった。
だから今までの暴言は許し「ごめんなさいっ！」はあっ！？」

「そうです、本屋の前でそんな大技の練習していたわたしが全部悪
いんです！！！」

ええと、何て説明したらいいのだろうか？目の前でパルキアがDo・
Ge・Zaしてんだが。というか俺が悪者みたいな構図になってん
じゃねえかよ。

「お詫びに、わたしの出来る範疇であなたの願いを叶えたいと思います。それで、どうか許してください!!!」

あゝ、何だ？パルキアのキャラ、完全に崩壊してるし。あといつの間にか立場逆転してるし。しっかし、願い事ねえ？意外と儲け物かもしれないね、そいつは。あゝ、だけど何にしようかな〜うーん……あつ！そういえば！

「なあ、パルキア。」

「あつ、はっ、はいっ！願い事決まりましたか？」

「その事なだけどさ、確かパルキアって次元移動できたよな？」

「えっ、はっ、はい！できません、でもそれがどうしたんですか？」

「いや、あのさ、『空の探険隊』って知ってるか？」

「えっ、はい！確かあなたが生きていた世界にあつたゲームですよ
ね？」

「そうそう、それぞれ。その世界にさ、俺を転生させてくれないか
？」

「えっ、はっ、はい！別に構いませんが、でも、そんなのでいいん
ですか？もっといろいろ叶えられますけど？」

「いや、いいんだ。俺、昔からあの作品が大好きでさ、あの世界に
行って見たかったんだ。」

「そうですか……。分かりました。それくらいであなたを殺してしま

った罪が償えるとは思えませんが、やらせてもらいます。」

「ああ、頼むぜ。」

よっしゃ〜！これであの憧れだった『空の探険隊』の世界に行けるんだ！〜くう〜、みなぎってきた〜！（・・）

「それで、ポジションはどうします？」

「そりゃ、もちろん、主人公〜！」

「では、あなたになりたいポケモンの種族は？」

「うーん、そうだな……よしっ！決めたっ！コリンクで！」

俺がゲームやった時もコリンクだったしな！

「では、パートナーはどの種族にします？」

「うーん、じゃ、ポッチャマで！」

あいつがドヤ顔したら、殴りたいからな！

「はい、分かりました。最後に何かチート能力みたいな物はどうします？」

チート？いや、いらんだろ。あつたらつまらんし。ああ……だけどあれだけ頼むか……

「じゃあ、『時空の叫び』が発動する時の目眩をなくしてくれない？」

「はい!……え、そんなのでいいんですか!？」

「うん。」

「はっ、はぁ……分かりました。では、行きます。時空移動!」

そこで、俺の意識は再び途絶えた……。

第1章 転生（後書き）

書き終わってからきづいたんですけど、主人公、名前書いてねえよ！
こんなアホ作者ですが、これからもお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5394z/>

空の探険隊で気ままな冒険をしてみることにした

2011年12月18日03時50分発行